

要望事項						消費者庁記載						
No.	種・亜種の標準和名 (ここで使用する“標準和名”とは、専門家の間で認知され、図鑑等で使用されている和名を指す。)	左欄に代わる一般的名称例	学名	備考	団体等からの要望等	水産協の提案根拠	改正案の適否	種・亜種の標準和名 (ここで使用する“標準和名”とは、専門家の間で認知され、図鑑等で使用されている和名を指す。)	左欄に代わる一般的名称例	学名	備考	消費者庁の見解
1	コウイカ	—	<i>Sepia esculenta</i>					コウイカ	—	<i>Sepia esculenta</i>		
2	ケンサキイカ	—	<i>Loligo edulis</i>					ケンサキイカ	—	<i>Uroteuthis edulis</i>		【学名の変更】 属が変更された
3	ヤリイカ	—	<i>Loligo bleeker</i>					ヤリイカ	—	<i>Heterololigo bleekeri</i>		【学名の変更】 属が変更された
4	アオリイカ	—	<i>Sepioteuthis lessoniana</i>					アオリイカ	—	<i>Sepioteuthis lessoniana</i>		
5	ホタルイカ	—	<i>Watasenia scintillans</i>					ホタルイカ	—	<i>Watasenia scintillans</i>		
6	スルメイカ	マイカ	<i>Todarodes pacificus</i>			業界内では従来より広く「マイカの唐揚げ」などスルメイカを使用してマイカと謳う加工品が見られていましたが、近年、ドスイカやトビイカなどの他のイカを使用して「マイカの唐揚げ」などと謳う事業者も出てきているため、あらためて「マイカ」=「スルメイカ」と整理していただきたい。	×	スルメイカ	—	<i>Todarodes pacificus</i>		「マイカ」は、スルメイカのみならず地域によってはコウイカ、ケンサキイカ、シリヤケイカを指す地方名であることから、一般的名称例としては「—」とした。トビイカについては、別表2の「使用できない名称例」を「スルメイカ、マイカ」とすることとする。
7	アカイカ	ムラサキイカ	<i>Ommastrephes bartramii</i>			「ムラサキイカ」は事業者間ではずっと昔から使い続けられている一般的な名称。「アメリカオアカイカ」との区別の意味もある。2012年12月に弊会より「魚介類名称に関する水産食品衛生協議会会員企業向け指針」を発行しておりますが、当時の水産庁加工流通課様と何度かこの内容全てに確認をいただいてから発行致しました。「アカイカ」=「ムラサキイカ」は常識であった。当時も特に何もコメントはいただいておりません。補足しますと、従来、市場・業界での呼び名は専ら「ムラサキイカ」でしたが、「魚介類の名称のガイドライン」が公表されて以後、標準和名である「アカイカ」とも呼ばれるようになりました。しかし、「アメリカオアカイカ」と明確に区別する為に、今でも「ムラサキイカ」の呼び名は使用されています。	○	アカイカ	ムラサキイカ	<i>Ommastrephes bartramii</i>		
8	ソデイカ	セイイカ	<i>Thysanoteuthis rhombus</i>				×	ソデイカ	—	<i>Thysanoteuthis rhombus</i>		「セイイカ」はソデイカの沖縄県の地方名であるため。

要望事項						消費者庁記載								
No.	学名	種・亜種の標準和名 (ここで使用する“標準和名”とは、専門家 の間で認知され、図鑑等 で使用されている和名を指す。)	左欄に代わる 一般的名称例	使用でき ない名称 例	備考	水衛協の 提案根拠	改正案の 適否	学名	種・亜種の標準和名 (ここで使用する“標準 和名”とは、専門家の間 で認知され、図鑑等で 使用されている和名を 指す。)	左欄に代わる 一般的名称例	使用でき ない名称 例	備考	英名 (参考)	消費者庁の見解
<i>Loligo</i>														
1	<i>Loligo duvauceli</i>	アジアケンサキイカ	ヤリイカ	—		いずれも「標準和名ヤリイカ (<i>Loligo bleeker</i>)」の近縁種で 身質が似ており、昔から外国 産のヤリイカとして流通し、寿 司だね等に使用されている。	×	<i>Uroteuthis duvauceli</i>	アジアケンサキイカ	—	—		Indian squid	「 <i>Heterololigo</i> 属(ヤリイカ属)」に属 する別表1掲載のヤリイカとは属が 異なるため、一般的名称例としては 「—」とした。 No1~4及び7については、 ①市場卸値がヤリイカを大きく下回 ること ②一般の小売店では、煮イカ等の 加工調理用に小型のものが販売さ れるケースが多いこと からも、同様の名称(ヤリイカ)で扱 われることは不適切であると考え る。
2	<i>Loligo chinensis</i>	ヒラケンサキイカ	ヤリイカ	—			×	<i>Uroteuthis chinensis</i>	ヒラケンサキイカ	—	—		mitre squid	
3	<i>Loligo singhslensis</i>	ヤセケンサキイカ	ヤリイカ	—			×	<i>Uroteuthis singhalensis</i>	ヤセケンサキイカ	—	—		Long barrel squid	
4	<i>Loligo opalescens</i>	カリフォルニアヤリイカ	ヤリイカ	—			×	<i>Doryteuthis opalescens</i>	カリフォルニアヤリイカ	—	—		Carifornia market squid	
5	<i>Loligo reynaudi</i>	アフリカヤリイカ	ヤリイカ	—			×	<i>Loligo reynaudi</i>	アフリカヤリイカ	—	—		Cape hope squid	
6	<i>Loligo vulgaris</i>	ヨーロッパヤリイカ	ヤリイカ	—			×	<i>Loligo vulgaris</i>	ヨーロッパヤリイカ	—	—		European squid	
7	<i>Loligo pealei</i>	アメリカケンサキイカ	ヤリイカ	—			×	<i>Doryteuthis pealei</i>	アメリカケンサキイカ	—	—		Atlantic long finned squid	

要望事項						消費者庁記載								
No.	学名	種・亜種の標準和名 (ここで使用する“標準和名”とは、専門家 の間で認知され、図鑑等で使用されている 和名を指す。)	左欄に代わる 一般的名称例	使用でき ない名称 例	備考	水産協の 提案根拠	改正案の 適否	学名	種・亜種の標準和名 (ここで使用する“標準 和名”とは、専門家の間 で認知され、図鑑等で 使用されている和名を 指す。)	左欄に代わる 一般的名称例	使用でき ない名称 例	備考	英名 (参考)	消費者庁の見解
<i>Illex</i>														
8	<i>Illex argentinus</i>	アルゼンチンマツイカ	マツイカ	—		いずれも昔から「標準和名スルメイカ(Todarodes pacificus)」の代替加工原料として近縁三種を区別なく、○産の「マツイカ」として事業者間で呼ばれて流通している。国内に「標準和名マツイカ」というイカはない。2012年12月に弊会より「魚介類名称に関する水産食品衛生協議会会員企業向け指針」を発行しておりますが、当時の水産庁加工流通課様と何度かこの内容全てに確認をいただいてから発行致しました。「マツイカ」という呼び名は普通であって、当時も特に何もコメントはいただいておりません。	▲	<i>Illex argentinus</i>	アルゼンチンマツイカ	マツイカ	スルメイカ マイカ		Argentine shortfin squid	別表1掲載のスルメイカと区別するため、使用できない名称例に「スルメイカ」及び「マイカ」を追記。
9	<i>Illex illecebrosus</i>	カナダマツイカ	マツイカ	—			▲	<i>Illex illecebrosus</i>	カナダマツイカ	マツイカ	スルメイカ マイカ		Northern Shortfin frying squid	
10	<i>Illex coindetii</i>	ヨーロッパマツイカ	マツイカ	—			▲	<i>Illex coindetii</i>	ヨーロッパマツイカ	マツイカ	スルメイカ マイカ		Broadtail shortfin squid	
<i>Nototodarus</i>														
11	<i>Nototodarus sloanii</i>	ニュージーランドスルメイカ	—	—			▲	<i>Nototodarus sloanii</i>	ニュージーランドスルメイカ	—	スルメイカ マイカ		Wellington frying squid	別表1掲載のスルメイカと区別するため、使用できない名称例に「スルメイカ」及び「マイカ」を追記。
<i>Sthenoteuthis</i>														
12	<i>Sthenoteuthis oualaniensis</i>	トビイカ	—	スルメイカ マイカ			○	<i>Sthenoteuthis oualaniensis</i>	トビイカ	—	スルメイカ マイカ		Purpleback frying squid	
<i>Dosidicus</i>														
13	<i>Dosidicus gigas</i>	アメリカオオアカイカ	—	—			▲	<i>Dosidicus gigas</i>	アメリカオオアカイカ	—	アカイカ ムラサキイカ		Jambo frying squid	別表1掲載のアカイカと区別するため、使用できない名称例に「アカイカ」及び「ムラサキイカ」を追記。

要望事項						消費者庁記載								
No.	学名	種・亜種の標準和名 (ここで使用する“標準和名”とは、専門家の間で認知され、図鑑等で使用されている和名を指す。)	左欄に代わる 一般的名称例	使用できない名称 例	備考	水衛協の 提案根拠	改正案の 適否	学名	種・亜種の標準和名 (ここで使用する“標準和名”とは、専門家の間で認知され、図鑑等で使用されている和名を指す。)	左欄に代わる 一般的名称例	使用できない名称 例	備考	英名 (参考)	消費者庁の見解
<i>Sepia</i>														
14	<i>Sepia (Acanthosepion) recurvirostra</i>	アジアコウイカ	コウイカ	—		いずれも「標準和名コウイカ (Sepia esculenta)」の近縁種で身質が似ており、昔から○産のコウイカとして流通し、寿司だね等に使用されている。	○	<i>Sepia recurvirostra</i>	アジアコウイカ	コウイカ	—		Curvespine cuttlefish	輸入割当 (IQ) において、「モンゴウイカ」に分類されていないコウイカ科の種であり、市場において国産のコウイカ <i>Sepia esculenta</i> を含めて「コウイカ」としてまとめて扱われている。
15	<i>Sepia (Acanthosepion) brevimana</i>	シヤムコウイカ	コウイカ	—			○	<i>Sepia brevimana</i>	シヤムコウイカ	コウイカ	—		Shortclub cuttlefish	
16	<i>Sepia (Acanthosepion) pharaonis</i>	トラフコウイカ	モンゴウイカ	—		いずれも「標準和名カミナリイカ (通称モンゴウイカ) (Sepia (Acanthosepion) lycidas)」の近縁種で身質が似ており、昔から○産のモンゴウイカとして流通し、寿司だね等に使用されている。「輸入割当て (IQ) 対象水産物の属名、製品形態等の一覧」でモンゴウイカと整理されている。	○	<i>Sepia pharaonis</i>	トラフコウイカ	モンゴウイカ	—		Pharaoh cuttlefish	輸入割当 (IQ) において、「モンゴウイカ」に分類され、市場においても、「モンゴウイカ」としてまとめて扱われている。
17	<i>Sepia (Acanthosepion) lycidas</i>	カミナリイカ	モンゴウイカ	—			○	<i>Sepia lycidas</i>	カミナリイカ	モンゴウイカ	—		Kisslip cuttlefish	
18	<i>Sepia (Sepia) officinalis</i>	ヨーロッパコウイカ	モンゴウイカ	—			○	<i>Sepia officinalis</i>	ヨーロッパコウイカ	モンゴウイカ	—		Common cuttlefish	
19	<i>Sepia (Sepia) latimanus</i>	コブシメ	モンゴウイカ	—			○	<i>Sepia latimanus</i>	コブシメ	モンゴウイカ	—		Broadclub cuttlefish	
20	<i>Sepia (Amplisepia) apama</i>	オーストラリアコウイカ	モンゴウイカ	—		○	<i>Sepia apama</i>	オーストラリアコウイカ	モンゴウイカ	—		Australia giant cuttlefish		